

3月 食育だより



令和元年度
幸手市立吉田小学校

春の足音が聞こえ心はずむ3月は、学校では1年の締めくくりの月になります。
この1年間の学校生活はどうでしたか。健康に過ごすことができましたか。
新しい学年、学校に向けて最後の月を元気に過ごしましょう。

1年間の給食をふり返ってみよう!

「はい」は →、「いいえ」は →に進みましょう。



知っていますか 3月の食文化

(毎月19日は食育の日)
3月の給食目標 1年間の給食をふりかえろう

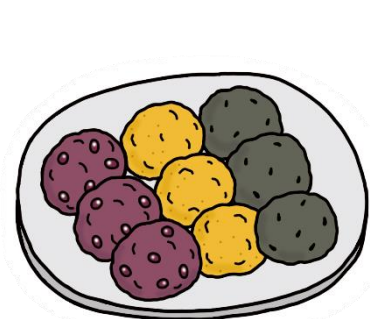
3月は「弥生」といいます。「弥(いや)」には「いよいよ、ますます」、そして「生(おい)」には草木が芽吹くという意味があります。この「いやおい」が縮まって「やよい」になったといわれます。ひな祭りやお彼岸の行事があり、また卒業式のシーズンです。

ひな祭り



女の子の健やかな成長を願う節句のお祭りです。赤・白・緑の3色のひし餅、ちらしずし、はまぐりのお吸い物、ひなあられ、また子どもは飲めませんが白酒などがよく出されます。

お彼岸



春分の日。秋分の日を中日にして前後3日ずつの7日間を「彼岸会」といいます。ご先祖様に感謝し、お墓参りなど仏事を行います。お供え物として「ぼたもち」や「おぼぎ」を作ります。

卒業式



入学試験の合格が決まった日や卒業式などには、もち米に小豆やさざげを入れて蒸した「赤飯」がよく出されます。昔から赤い色には魔除けの力があるとされ、お祝いの食事に用いられました。

1年間ありがとうございました。

今年度の給食は、3月18日(水)で終了いたします。給食を通して、今年度も1年間、子供たちのうれしい笑顔がたくさん見ることができました。「おいしかった!」や「ごちそうさま」の声、そして空っぽになって教室から戻ってきた食缶を見ることが、スタッフ全員の大きな励みになっています。来年度も食品や調理過程の安全には細心の注意を払いながら、おいしい給食を毎回提供できるように努めていきます。また卒業生のみなさんには給食を通して出会った味のことを忘れず、給食で学んだ食べ物や食べ方についての知識や経験を、学校給食の楽しい思い出とともに、ぜひこれからの生活に生かしてってください。1年間、本当にありがとうございました。

